



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕はこの原爆先生の授業を受けてみ
 て、一番いんしやうに残った話は、
 約60年ぶりに広島に行って原爆資料
 館を見学したときにお父さんの義三
 さんが「きれけぎる」と言ったことです。
 理由は、資料館にあった資料や作品も
 かなりおごかたり、いたいたしかっ
 たけど、それよりもごりものた
 たりも自分は見えてくれなからと
 思いました。でもそんな人達を見
 ながら、死体の後しまつをして
 いたなんて、気かとごんじょうが
 あるなと思いました。はだがボロと
 落ちるなんて、本や空をなごり
 しかみないのであまり現実の大
 うに感じれなからたけど、
 このような非さんなことがあった
 ということを、後世の人達に伝えて
 いくことが大切なんだということが



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原子爆弾を投下するということとは、外国からの
 しくしゅうなので、日本に投下されたくない場所
 投下するのかなと思いましたが、外国側は人間
 にとって重要な文化財のある場所に投下してはい
 けないという優しい考えにおどろきました。また
 それだけでなく空襲がなかった場所に投下す
 るという考えにおどろきました。また原子爆弾の
 カにおどろきました。4kmを時速300kmのリトル
 ボーイが重カにまっとおとされ地上から600m
 はなれたところでリトルボーイが爆発し、中心は100万
 °C、まわりは700°Cというものは太陽と同熱
 さのものが空から降ってきたのでその時にいた人は
 相当熱かったんだなと思いました。なのでこの世
 の中には「戦争」というものが必ずあってはい
 けないものかというところがわかりました。また
 戦争や原子爆弾を次の世代に伝えることで今
 の世の中へどれだけ平和なのか分かるので是非
 伝えていきたいです。また自分の将来を平和であ
 るために力を尽したいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業で原爆の怖さを知ることができました。まず原爆の温度です。太陽の表面温度が6000℃に対して原爆の中核部分の温度が100万℃。比較してみても比べものにならないくらいの温度差です。

そして鉄のとける温度が1500℃に対し原爆が落ちたときの地上の温度が3000℃。ここでようやく原爆の怖さを知ることができました。

そして次におどろいたのは原爆を落とす場所についてです。「本当は原爆は京都に落とす予定であつたが歴史がある京都に落とすのはよくない」と原爆先生の話で少しおどろきました。敵であつたのに上のような理由で原爆を京都に落とさなかつたアメリカも少し優しく思えました。

そして最後に被爆者数についてです。広島全体の40%の人が亡くなつたり、計算してみても全体の約68%の人が被爆してつたり原爆のいかなども同様に知ることができました。

ぼくたちは原爆を見たことも体験したこともありません。しかし今回の学習で原爆の怖さを知ることができたので今後生きていく上で大切にしていき、後世に知らせていきたいです。そして

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

人間がこのようなひさんな争いをしなつたような平和な世界をつくる
つてほしいです。

351
2440
220
210
920
280
270
7



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

わたしは原爆先生の話と今までの歴史の授業を受けて、戦争のこわさと、もう絶対してはいけないことだと分かりました。原爆先生のお父様の経験は悲しいことではあったのでこれからもだれもあんなことを記憶に残してほしくないと思います。しかし、今は戦争のことを覚えている人が減っている中、知っている人は知らない人にどんどん伝えていく必要があるとも考えました。なぜなら原爆ドームや資料館など、戦争について学べるところはあるけれど、原爆の後、歩いてきた女性のモデルに対しての先生のお父様の言葉「されいすぎる、などのように、今では実際の戦争のときの人々を今の人々のいいまうにしています。(少し人々をされいにして展示するなど)」。なのでだれもが本当の戦争のときの暮らしを知らなければなりません。

これからわたしは戦争についてよく知らない人には昔の暮らしをシンガポールの博物館に行ったときのことをもふまえて伝えていきたいです。そして、もっと外国のことも学いながら、原爆先生に感謝して、ずっと覚えておきたいです。先生ありがとうございました！



じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

ぼくは、この授業で戦争がどれだけおそろ
かで、原爆がどれほど大きな力をもっ
ていたか、たくさん知ることができました。
原爆が地上から600m上のところで
ばくはつして、そのひょう面の温度は約
7000℃で、太陽のひょう面の温度は約6000℃
で、太陽が地上600mまで近づいてきた
のと同じくらいのあつさで、とてもむ、くりしま
した。また、原爆のばくはつにのみまられた人
は、その場所に行ったところにはただの黒いシミの
ようなものしかのこらず、それ以外はあとがた
もなく消えてしまったと耳きおどろきました。
原爆のひかりを受けた人は、皮膚がたれさか
り大やけどをしていて、とても悲しいと思いました。
なのでこれからは、もうこのような悲しい
出来事があまなないように、世界のみな
さんが仲良く平和にくらしていける
ように、自分もがんばっていきたいな
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この学習をおたて、衝撃波の事や、池田義三さんの事がよくわかりました。ぼくは、この学習で、一番心に残った事は、広島に投下された原爆の、「リトルボーイ」が一番おそろしいと思いました。理由は、600mの上でも、3000℃が一瞬にして死んだ人が14万人もいて、ゾッとしました。それに、あの大きい広島県産業しめい館が少ししかなくなりました。その場にいた人は、亡くなってしまかなかたです。学んだ事は、その他にも、ぼくはっしたあと、真空になって、それが上に行ききの雲ができて初めとしり、「えうな、ているんだ。」と思いました。

いろいろな事を知ることがたてです。ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前を裏面に記入してください

ぼくたちは、社会の授業で原子爆弾のおそろしさや、戦争について、学習していました。

社会の授業で原子爆弾について、学習していたけれど、細かくは知りませんでした。

原爆先生の授業で、原子爆弾や戦争について、もっとくわしく知ることができました。

例えば、原子爆弾投下都市の条件や、原子爆弾を投下する候補になた都市、原子爆弾の温度、原子爆弾のこわさなど。

この授業を通して、戦争は二度してはいけないものだということが分かりました。

学校でのけんかも、世界では戦争と同じなのてい学校でのけんかもなくしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が、今回の特別授業を学んだことは沢山ありました。とくに心にのこったことは、「原爆」のためとあってしまったり、片々が「おおせい」になるということです。また、死亡率40%ということにとってもおどろきました。そして他にも資料や教科書にはのっていない色々なことを教えてもらうことができました。広島市の原爆ドームでは、おとくしん直下をうけほとんどが亡くなってしまい焼け死んでしまっている人がおおいそうです。けれども、このように、おおくの人が亡くばやられてしまった戦争のことを知らない人が今は、とてもおおいです。なので私は今回教えていただいたことを、次の世代の人たちに知ってもらえるようにしたいと思いました。また、今回のことを生かして授業の中で、もっと知ってこれから絶対に行ってほしいということを伝えていきたいと思いました。今回は、戦争のことや、今まで分からなかったことなどを分かりやすく教えてくださりありがとうございました。次は、私たちが伝えていくようにいしでも努力していきたいと思えます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、爆心直下の原爆が爆破した時のイメージ図を見たことがあり、それが、今日の特別授業を受け、私の見たイメージ図をほるかに、こえるい力があることにおどろきました。ですが、そのい力が^強いから、逆に原爆についてのい力が分からぬほどでした。そして、アメリカ軍もこんなにもすごいものから落とすのであろうかと思っていました。この原爆のい力を知れば、これほどのものは落とさず、もう少しい力が弱い物を落としたのだと思います。長崎のものと同じものを落としたのは許せませんでした。川が一瞬間してふ。そうして、肌が垂れ下がり、た、人が一瞬間に^{ぶっ壊れたり、}黒い炭として影がでた。普通、あり得ません。それが現実とあってしまったことを、アメリカ軍の誰か一人が救ってくれたりはしなかったら、と思う。そして、原爆先生のお父さんが、原爆資料館で話された「されいする」という言葉が、と脳裏にほりついています。原爆先生のお父さんは原爆があつた直後の^{と見たり、その現状を見て、}証言している貴重な人で、私たちに聞けたことは、本当の戦争の恐ろしさを知るとて良い機会でした。原爆は自分にとってとても長く、恐ろしい存在だけれど、それ原爆先生のように、後人に伝えていく必要があると思ひました。そして、伝えていくだけでなく、そもそも戦争を起してほらばいという^とことも、^{原因}との付き合いが大切なのだと思います。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの戦争の学習に入るまで、原爆兵器などの恐しさに対する関心がありませんでした。それ所か、周りで人が死んでしまったこともありませんでした。今回習った原爆では、二万人が死を受け入れる間もなく死に、十二万人が苦しみ、苦しみぬいて死に、二十四万人が被爆。生き残りは後遺症にならされてきました。大変恐い事です。広島とは様々な条件によって選ばれた都市です。もし、投下の一番有力候補であった京都に原爆が落ちていたら、ぼくは今生まれていないと思います。たまたまぼくでは無かったのです。そして失われるのは、被爆者の人だけではありません。その人のご子孫の命まで消えてしまうのです。原爆とは人にある無限の可能性まで消してしまふのです。死者十四万人、とデータに出すのは簡単です。だけど、その一人にそれぞれ物語があると思います。今回偶然生き残りがしたけれど、たまたまではないかもしれません。戦争をいかに歴史の継承につなげるわけですか。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼく達が今まで学校の授業で学んできたときも、
 ビデオで見学してきたときも、よく実感があ
 なかった。且昭和館に行こうか、本を読もうか、自分が
 いる玉見実のものとして考えることができなかった。当
 然、「かあいそう」とか、「ひどいなあ」とか思うこと
 はあったけど、その気持ちはドラマを見て感じる
 感情と変わらぬものだったと思う。それに、原爆ドム
 かもとは「広島県産業奨励館」というものだったことだて、
 知ってしまえば、「原爆スクリーン」とか思わなかったし、その裏の
 数万人にも及ぶ人々の苦痛など考えることなど一度も
 なかった。ほんの少しも現実のものとして考えたことがあつた
 のは、「はたしのスクリーン」を読んだときぐらいだ。今回の原爆
 先生の語りで、先生の見事な語り口で、これは
 自分の身近なものとして感じるということができたと思つた。
 しかし、未だに自分の身に差しせまる重みのある
 こととして感じることはできていないと思う。
 生きてゐる人と角立あふることの喜び、死にせまら
 生きてゐないことの苦しみを見た義三さんと同じ理解が
 できなかつたせいで心に刻みみたいと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の原爆先生の特別授業を受講して一番心に残ったことは、『原子爆弾』そのもの... についてです。原爆は爆発すると中心温度が100万度、表面温度が7000度にもなります。鉄が溶ける温度は1500~1600度、太陽の表面温度は約6000度です。なので、直径200mの球体の太陽のかけらが広島に落ちてきたのと同じと思うと、とても怖いと思いました。また、原爆を落としたB29爆撃機エノラ・ゲイの随伴機は原爆を落とした後、瀬戸内海の方へ逃げ、爆原した後の原爆の写真がありました。けむりは雲の上まで立ち上り、色は白ではなく、必ず黒いような色で、それはそれほそれは大きい雲で原爆の悲惨さを感じさせてくれる写真だったと思います。

人は、太陽の温度を作り出すほどの技術をもっていたのに、それを、人を殺すために... 戦争のために... 使うのは絶対にしてはならないことだと思います。なので、人が生み出した技術は人の幸福のために使うべきだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、原爆は怖いものであることは知っていましたが、実際に原爆を経験した時のことなどは知りませんでした。人間とは思えないような人が手をななめ前にして歩いていたり、手を持つと、かみかみはがれてきたり。このようなことを聴くと原爆は人間の世界にあってはいけないものであり、人間を人間ではなくしてしまうものだと思います。上空600mに7000℃のものがあり、原爆が落とされている時はまだ生きていると知り、きんともとても熱く、その時生きていると、辛かったと思います。生き残っていたとしても、夜ふか痛かったりして、とても辛かったと思います。広島市の人口の40%がなくなりました。たことに驚きました。このように、たくさんの方がなくなり、たくさんの方が悲しい思いをした原爆を、二度と落とさないようにしてほしいと思います。唯一の被爆国である日本が世界にうつたえてほしいと思います。このような原爆の怖さを知った私も、世界にこの原爆の怖さを知らせたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/17

ぼくは原子爆弾を投じたのはひどいことだ
 と思ってはいたが、原子爆弾のもたらした被害が
 どれくらいなのか知りませんでした。だから原
 爆の死亡率が40%（5人に2人）だを知りし
 てもおどろきました。また、衝撃波の速さ
 が音速よりも速いくらい原爆のいよきを
 は、恐ろしいなと思いました。（特にアバウト
 思ったのは原爆の中心温度が100万℃
 ほどです）また、実際に広島に行って原爆
 ドームや、その他の資料館に行っ
 て回ってみたい。色々な人にインタビュー
 したりしてもっと知識を深めたいです。そ
 れで、次世代を担う人たちに原爆が何
 度と使われることのないよう、
 日本国民として伝えていきたいと思います
 と思いました。また、伝える以外にも
 ほかのことはたくさんあるから作りたい
 と思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して最初は7000℃の少年という題名にとっても不思議に思いました。ぼくは人間は7000℃に熱せられる何も残らないと思っていたけれどそれでも広島の人々はかんばって生き延びようとしていたところにぼくは人間の生命力の強さを感じました。また外国の人達は原爆を落とす条件を達している京都に落ちるはずだ。たのみに文化財がたくさんあるという理由で落さなかった外国人の考えにはとてもおどろきました。また実際に広島に落とされた「リトルボーイ」という原子爆弾は長さ約3m、重さ4tなのにも関わらず上空9632mから落ちてくるのはとてもおそろしいことだと思いました。そして原爆ドームが世界遺産に登録されたことで二度と行ってはいけないということを日本国民だけでなく、世界の人々にもこの気持ち伝わると思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は、原爆先生の授業を聞いて、一番おそろしいと思った所は、リトルボーイがエノラゲイからばくほうをしたせいで、あつあき"て人"のかげの黒い部分しか残っていないかったというお話です。その写真を見たとき、すごくショックでした。ふっつうにベンチにあわっていたのにもかかわらず、急に、こんなものがふっってきたせいで、この人の命は、一瞬間にして終わってしまったことということです。

先生のお話で、16~17才の女性を助けるために、弟の、3~4才の男の子が、原爆先生のお父さんのふくをひっぱって自分の姉を助けたというお話に感どうしました。弟は、自分の命をさげしにして姉を助けたというのほすごいなと思いました。このことから戦争に悲しむ人を少なくするためには、私も何か協力していきたいです。





原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

授業で、戦後や戦争中のことをくわしく教えて
もらいありがとうございます。

私は、話を聞いてけが"人か"とでもゆいこと
か"とでもおどろきました。

やけどをした人か"手をななめに歩いてい
たことを初めて知りました。

そして、本当に戦争の苦しさやつらさなど、あそ
こまで"つらかった"とは思いませんでした。

兵隊を経験した人も、泣いていたので、日本か
"これだけ悪いことをしたのか"分かりました。

学校の不仕会の授業で戦争のビデオを見て、平井口
だった日に、いきなり、空しゅうか"おそいかからてきて
私か"経馬隊者だ"としたとでもこのめかたと
思いました。

原ばく先生か"「わあー」と大声で言った時とでも
おどろきました。それと同じで、戦争もとっせん
するということか"分かりました。

私達か"できることを、考え、実行したいと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこれまで、日中戦争、第一次世界大戦、大東亜戦争、太平洋戦争などを学んできたけれど、この長く続いた戦争を終わらせたともいえる原爆がどれくらい威力なのか、普段の授業だけではよく分かりませんでした。しかし、今回の授業で、実際に体験した人の話、とくに「広島市に近づくとつれて、もはや人間とはいえないような姿の人々が多くなった」とか「助けたいと思っても、自分たちには助けることができなくて、胸がいたくなった」という言葉を知ったときは戦争というものは、何もしてない庶民までもをひどい目にあわせ、また生き残った人にも悲しい思いをさせ、本当にいけないものだと改めて感じました。また、原爆の威力を知って、とてもおどろきました。私は広島がたった1つの「原爆」という兵器のせいの一瞬にして、灰色の世界に変わりかえってしまったと知り、人間はこんなにもはかなく、すぐになくなってしまおうのかと思うようになりました。これからも原爆先生やそのお父さんの話を忘れることなく、絶対に戦争をしないようにしたいです。

達

走る



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、最初の間でおこられるかなあと思っ
て、きんちょうしました。

原爆の音がうまく表現できていて
よかったですと思います、びっくりしました。

原爆の恐しさと言ってくれて原爆
について知ることができてよかったです。
原爆は地上でばくはつするので
は、なく、空でばくはつするのが意外
でびっくりしました。

原爆が空でばくはつするとしたら、当然
あつくなるから、体がとけてしまい、手をななめ
前に出して、助けを呼ぼうとしていたけ
ど、ぼくは、どうやって助けを呼んだのが気
になります。

ぼくが原爆を甘く見ていたけど、しかし
この授業をして、原爆は、死者がたくさん
でいることに気がついて、今まで甘く見て
いたけど、授業をとおして、原爆は、甘く
見てはいけないうちに気がきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は戦争の危険さが近代に近づくにつれ増してきていると思いました。原子爆弾は想像以上に大きく1kmは簡単に被害がとどくことは納得できました。一帯を全て破壊することが最も効率がよかったのかもしれません。衝撃波の速さは音速をこえ、表面温度は太陽をこえる程の威力だと展示されている人形が人と分かるのは上手く被害が表せられていないのかもしれません。こうした人々の命を多くうばった戦争でも現代の国民はくわい知らず、跡が残るものを荒らす事件が起きています。たことは一度つらい思いをした体験者にもう一度つらい思いをさせることになります。また後世に伝えなければ戦争は忘れられ戦争を少しの争いから起こしてしまうかもしれません。だから戦争について広めていくことが必要で、平和を目指すことが大切だと思いました。人々の悲しい思いも含め今後は戦争について言周べ、広く発信していきたいです。そうすることで戦争への理解を深めたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、二かまでの学校の授業で戦争は悲惨でとても悲しい。これから糸色文に起きてはならない出来事だ。という事は知っています。また、その悲惨な出来事を二かからの苦しい世代に伝えらるる被災者も減少しているとも知りました。ですが戦争の原因やどのように拡大していったのかは少しが学べず、知識的にも身についている道徳的にもその戦争をした時のエピソードや写真、被災者の話もなく、戦争兵士の気持ちや逃げた家族の気持ちや被災者の無残な姿をリアルに感じたり見たりした機会はいまほとんどなく、金で身に付けたと言えまうが、原爆先生の生父さんの実体験を聞き、兵士の気持ちや被災者の苦しみ、無残な姿を深く知ることができました。しかし、この話を聞いた後でもぼくの気持ちは大変変わってない。話を聞いたら、その悲惨な姿を想像はできた。本当に古くとして感じて、考えることができないから。原爆先生の話はとてもわかりやすく、感じることが多かった。頭ではその話を理解している。気持ちの整理がつかない。ぼくも戦争は糸色文に起きてはならないと思えますが、自分が戦争の苦しみを、次世代に伝えていける自信はまだありません。今日の授業で、戦争の苦しさを知ることができた。そのことを受け入れ、実感できるようにしたら、次世代にしっかりと伝えていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私たちは社会の授業でチビチリがマのことや戦争について学習していたので原爆先生のおはなしか聞いてよソ戦争に対する考えが深まりました。広島と長崎におとされた原子爆弾は多くの人の命をうばいました。先生のおはなしを聞いていると人間ではないような人が助けを求め助けようと手をさしのべると皮が「ズル」とはがれてしまうそのような人が沢山いました。想像するととてもかわいそうでした。私がもしそこにいたら全員助けてあげたかったです。原爆資料館で義三さんが「きれいなすきる」といった一言がとても悲しかったです。なぜかというとその模型だけでなくとてもひどい毒なのにそれを見て「きれいな」といったということはよっぽどひどいことかかわったからです。原子爆弾がおちなかつたら多くの人の命をうばわなかつたので二度とこのようなことが起きないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は「戦争」についてのテレビや本を読んだことはあるのですが、原爆先生のお話を聞いて、投下されたすぐの人々の様子を聞いて、戦争がどれだけ悲しかったのかわかりました。太陽が6000°なのに、原爆の表面温度が7000°で、その原爆が人々のところに落とされたと初めて聞き、おどろきでしかありませんでした。原爆資料館を、池田義三さんと行った時に、投下されたすぐの人々の様子の模型を目の前に、「きれいすぎる。」とボソッと言った時は、「悲しい」の言葉では足りないのでした。また、投下された後の「赤い雨」からの雨で、放射能によって、今でも苦しんでいる人がいるということも知り、気の毒だなと思いました。最近、経歴者が少なくなり、4040がマの事件が走りきたり、終戦の日日も知らないう人が、年々増えていくそうです。なので、私も「戦争」のおそろしさを、私たちの世代も引き継ぎ、次世代にもつなげていきたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

日本が最初に色々な戦争に勝った時に、調子になって、その後の戦争も、負けたのに、勝ったとして、色々な戦争も続けたのが、度が過ぎると思った。中継戦や、日中戦争などで、悲しい場面をたくさん見てきた日本が、どうしても戦争をやめられなかった理由が、ひどすぎると思った。日本は、日本のことしか考えていない、相手のことは全く考えられない国だったということを知って、とてもショックだった。どうしても、日本の強さをアピールしたいと思っても、違いう方法はなかったのかと、思うところで、私は、戦争の悲しさを若い世代に伝えていくために、まず、今回の学習で、調べきれなかったことを、インターネットや、戦争の施設などで調べていきたいと思った。そして、スポーツの行事が、さかんになっている今、外国との交流を大切にして、もう二度と戦争を起こしてはならないと思った。昔の、日本に戻らないうちにも、外国を尊重し、外国と、互いに認め合いたいと思った。そして、また、いつ戦争がおきるかわからないから、いつでも外国と、世界中でつながり合えるようにしたい。今は、各所で「テモ」が広がっている。その「テモ」が、世界中でおこれば、効果は、絶大だと思う。だから、将来自分の興味をもった、テモに参加したり、ニュースや新聞をこまめに見て、今日本がどのような状況にあり、常に、知っているようにしたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の「原爆先生の特別授業」を受講する前にも戦争のことに ついて学習していました。ですが教科書にのっているものだけだとその戦争に行った人かどんな気持ちだったのかというようなことは分かりませんでした。でも「原爆先生の特別授業」で戦争に行った人かどんな気持ちだったのかというのを学ぶことができました。また、戦争がどんなに残こったものだったのかというのを改めて知ることができました。例えば池田義三さんが17歳～19歳ぐらいの女の子を助けるときに包帯がやけどをした所にくっついてしまい、その包帯を取る時に痛みをこらえていたという話を聞いた時は想像するだけで胸が痛みました。それぐらい戦争では関係のない人かっらい思いをしたんだ”と思いました。そして原爆が行われる場所は広島以外にもあり、京都がゆうかな候補だったということにもおどろきました。これからも戦争について学びたい”と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

「ぼくは原爆先生の話を聞いて戦争はいつあっても辛くて悲しいものなんだと改めて思いました。授業を受けるまえは終戦の日をしりませんでした。が授業をうけて原爆先生の話を聞いた後だと日本国民としてまずいなと思いました。

僕はこの時代に生まれたけれど戦争中に生まれていたらすぐに死んでいたのだからラッキーと思うだけでなく戦争時代を生きていた人に感謝しなくてはなと感じました。この話を聞いて僕達はこれからどうしようかしっかりと考えていかなきゃなと思いました。

今、安全に暮らしていているのは昔の人達の努力だと思つので、これから何しようかをふまえて生活していきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆についてあまり深く考えていなかっただけで5人に2人が亡くなったことや太陽よりも表面温度が高いということをしり、とても大変でこれから同じような事が絶対にあってはいけないとあらためて思いました。原爆は3.12m47の小さい物から直径200mの物に大きく変化するのを初めて知りました。

また義三さんは女小学生のことを助けたということを知りてふつうの人が大きな傷を負うのほとてもひどいことだと思いました。

この授業を受けて今はとても平和であるのでこのままがっづけばいいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

ほととは原爆先生の特別授業を受講
 して 刻兵器 や 原爆のおそろしさを知
 ることができました。先生の演説の上手さ
 あってこゝろがまぶしくつたあつてきました。
 ほとは ニューヨークに行つて飛行機
 の ぱんつから人にしられたと見た
 せろせんや エノラゲイなど 見つけた
 て そのような 空を 飛んでいたら
 との ぐらゐの かわいさが 想像で
 ました。たくさんのお人も 来たこと
 で かつたか もつたか かつたか かつたか
 授業をきかかて もと 戦争について
 知り、みんなに 伝えらるる ように
 なりたいです。しかし 実際の体験に
 は 満足したいと思つたら いろいろな
 話をして 大事にして ほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の授業で、何度も何度もよくわからない体験したことのない感覚になりました。それが"ど"のようなものなのかを家に帰って考えてみました。そのとき僕は、先生がおっしゃっていた、死んでしまいそうになっている、被爆者の姿を思い出しました。いくら人から聞いた話だからといって、"それだけ"で"か"わり"さ"うなものなのかが"ど"てもよく伝わって来ました。だから、そのような嫌な感覚になったんだ"と僕は思いました。原爆先生のお話の中では、何度かの沈黙がありました。僕はその沈黙は、原爆先生が被爆者であるお父さんからお話を聞いたときにあった沈黙と全く同じようなものだったんじゃないかな"と僕は思いました。

原爆の3000℃以上の温度が、死んだ"人"が"1"万人もいたということが、"ど"れた"け"のものなの"が"実感のわかない自分が、正直言って日本人として取"ら"ず"が"しくなりました。このことを後世の人にも伝えていきたいと思"ひ"ます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今回の授業であらためて原爆のこおせについて分かりました。原爆の熱で7000℃になってしまうこと、人間の皮ふがとけてしまうなどという原爆のこおせについて知るこゝができました。そして原爆が落とされる都市に京都なども候補に選ばれていたことも知っておどろきました。またよしごうさんの原爆の体験の話も聞いてさらにおそろしいものだと思いました。ぼくは今まで戦争についての学習してきましたが戦争は糸色たいにしていけないうことを学んできましたが、今回の原爆先生の授業を通して、あらためて戦争をしてはいけないうことが分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前を裏面に記入してください

僕は原爆先生の授業を受ける前までは広島への原爆投下を軽く見ていました。どのように見ていたかという、原爆投下後数週間、死者も少なかつたの思っていました。しかしそれは予想をはるかに超えておいて今の僕に怒りたいう程でした。そんな中僕が一番心に残った話は、原爆が投下される都市の候補の話です。その候補となつた都市は京都、新潟、横浜、小倉、長崎、広島でしたが米軍は京都に投下させるべきだと言つていたそうです。しかし京都は世界遺産があるということで投下をまぬがれたそうです。だからといって広島に投下していいというわけではないと思います。今は戦争を経験している人が減少しています。伝える人がいなくなつたから戦争について忘れてたりしないので国民一人一人が戦争のことについて分かるために自分が出来る限り出来ることをしないといけないということを学びました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前を裏面に記入してください

今回の授業を通してやっぱり原爆は
二ゆいなと思いました。広島県の広島
市は原爆投下の条件をみたしただけとい
うのは不公平で、かゆいぞうだ"と思いまし
た。また、原爆の被害はしつしかな"と思
っていたけど、たくさん種類の被害が
あるという二に驚きました。予告なしに
来た二の原子爆"弾は防空壕のよくなと二
に入っても、防げなくらいなので、とても怖いと
思いました。今でいう原爆ドームは元々広島県
産業奨励館という所だ。た二に驚きました。
元の姿と今の姿を比べると全然違"うので、
原爆だけが変えてしま"うはか"い"か"はとも
強いと思いました。家族に話したら、
私と同じような感想をもっていました。資
料館"に行き、更にくわ"くしたから、も"とい
う二の人に二のことを伝えてい"きたいと思"いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が原爆先生の授業を授けて学んだことは、
最後まであきらめないことです。理由は、何回も被
爆地に行き、少しでも多く人を助けようとかんば
っていたからです。私は、最後までかんばらずに、
途中であきらめてしまっているからです。また、広島
の人口は35万人で、被爆者数が24万人、死者数は14万人、死亡率
が40%で残っている人は、ほんの少しです。でもその残った
少しの人が私はすごいと思いました。なぜなら原爆が
投下されて、ほとんどの人たちが、重傷や、なくなっ
てしまったのに原爆から1キロ離れたし、衝撃波と熱線
をあびると死んでしまうからです。そして、衝撃波の速
さにおどろきました。毎秒440mの速さだからです。
そして広島県産業奨励館は、衝撃波と熱線
をあびてびびりかみかみしたのか、こわかった。理
由は、原爆先生が「セカー！」と言ったとき、本
当にその場所にいる、まじかみかみしているように
思ったからです。でもその中で一人でも多く助けよう
と思っ、て、かんば、てや、っていたのか、すごいと思
います。理由は私で、た、その仕事はほうり出してしま



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

わたしは、先日受講してもらった広島で起こった原子爆弾や池田義三さんの話を聞き、たくさんのおんな出来事を学び、ことかてできました。ロープ目に学び、ことかてきたことは、原爆の強さです。わたしは、最初原爆とは「強くて危ないかく兵器」だ」と思っていました。しかし、原爆のせいでおんなの人が「苦しみ、暗い気持ちになってしまったことを知りました。原爆は生き残れても、体が「ホロホロ」になってしまった人や川や防火用水の桶の中に入った人は、その後になくなってしまい、かわいそうだったと思います。また、被爆した人々を助けようとしても、助けられなかった人がいた。部隊の人も「ショウク」だったはずなのに、川や桶の中に入った人々を出し、まいそうまでしたのはずのことか」と思いました。そして、街幸橋の手前で「10才くらい」の男の子に口乎はれ、その子のお母さんのところまで「帰還中」であつたのに、その人の足のけか「を手をぬかす」に、最後まで「できることを全てやり切ったのもすこしいことか」と思いました。わたしもたくさん困っている人を助けたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今回の原爆先生の特別授業を受けて、原爆がどれほど怖いのか、音声で分かった。原爆には三つの影響がある。7000もの高熱、原爆が落ちた後に広がる衝撃波、そして落ちた後放射される放射能がある。その被災地に自分がいた時を想像しただけで怖くなりました。また、何より怖くかぶくくりしたことは、外国が日本に原爆を落とす場所を、意外と考えてくれていたことです。そして池田善三さんの戦中でのことを伝えるメッセージも、覚えて原爆について失われたものや人のことを考えると、胸が痛くなりました。そしてこの原爆の授業で、原爆による被災地の影響、それに巻き込まれた人々の犠牲というのをこの授業で学ぶことができました。なのでこのことを生きかして、戦争を止めて平和な世の中にして、苦しむ人のいない平和な世の中にして、いかに早くに未来にこの事実を伝えて、一生苦しむことのない世界にしたい。



名前を裏面に記入してください

 原爆先生の特別授業を受講して
 じゆこう

表

私は特別授業を通じて、今までよりも戦争に対する感謝
 が高まりました。大きくわけて3つのことを学びました。1つ目
 は、衝撃き波の速さについてです。衝撃き波は毎秒
 440mで音速は340m/秒だと知り、おどろきました。
 2つ目は、ばくだんのことです。リプルボイというげんば
 くで、機長のお母さんの名前のエラ・ゲイという名前です。
 また、ばくだんを投下する前にパラシュートにとはばされて
 ラジオゾンテというかせの数値をはかるものがおとさ
 れたということをはじめで知りました。リプルボイという原
 ばくは3mで4トンもあるそうです。また、17000℃だと知
 り、おどろきました。40℃くらいのお風呂に入っても私た
 ち人間は熱いと感じるのに、17000℃のものがおとさし
 るなんて、想像するだけでこわくなりました。3つ目は、
 放射線、放射のう、げんばく雲についてです。げんばく雲
 は上にあがっていくものが雲になり、あふいで
 できるものだということを知りました。これらのこ
 とを知り、改めて、それから二度と戦争をおこし
 てはいけないと思ったので、4セリガマの事件のこ
 とのよげんばくがら、いようにしていかたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は先生から原爆の音をやったときとても、
ビックリしました。しかし、本当はもっと怖く、
大きいものだと思います。戦争中の人は、
そういう恐怖におびえていたのは、
辛いことだろうと思います。しかし、その戦争が喧まっていたの
は、そのころの日本の「戦争としていい」という
流れからなっていたもので、広島原爆や
東京大空襲など、戦争の怖さをして「今」
の私たちに戦争について学び、戦争について知り、
そして、二度と戦争を繰り返さないようにするとして
「かなってほしい」と思います。また、
北ビキリがマ事件のように、北ビキリがマを肝試し
にやったというふうな、不審しんた行動を
とらないようにしてほしいと思います。私は、憲法改正の、
「集団的自衛権」について、日本が「た同じ間違」を
起こしてしまわないのことが怖いのです。そのためにも、
国民一人ひとりが「戦争について知る」とは絶対に
しなければなりません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくがこの今日の特別授業を受けて
原爆には相当な力があるということ
が分かりました。実際に原爆の音の
おそろしむ、むかむ、熱むが先生の
一言一言から聞けられました。特に熱む
に関して人は人の心かとしてしまう
ほどのおそろしむがあることが分かり、
3000℃を体験したことないぼくは、
ぼうげきむきむでした。そしてその3000
℃の爆だんが、上空600m直径200m
のむかむむ地上の真上で爆はつ
るとなると、や、ばり多くの命が
うばわれることが分かります。その
ことから、戦争は絶対にしてはい
けない、そして一人も命をうばわ
ないようには、オリンピックな
どで外国との交流をより深めること
が大切なことだと分かりまし
た。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今回の原爆先生の授業で原爆は
 正確に、原爆ゲームが正確にわかってしりしめた
 原爆はいいものとかの中にはいってから
 をまもらり兵器い土んがこいふうに
 みをまもらていたのかどうかにどうか
 いたのがまもらしうて音その受け
 た人の気持ちそのまゝはどうか
 たかどをかいで、広島長崎に原爆を
 したのその外国の人はどうか
 じゃ、たのが同じ地球人なのに人間
 も絶滅危惧種なのにそんな軽い
 気持ちでやっていいのか
 どうしていいのかこれから考
 えて行動しなければいけないと思
 いました。これからも軽い気持ちで
 いかないようにするまゝにこれを
 聞いていいのかこれからもか
 いまいたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆や戦争の本当のつらさを今回の授業で知ることが
できました。

原爆が投下される候補になった都市に私たちに
身近な場所があったことで、もし横浜や京都に原爆が
投下されていたらどうなっていたんだろうと考えることが
できました。

原爆先生のお父さんの話を聞いてすごく感動したし、今の
自分の生活の仕方や態度などをまた考え直さないといい
ないと思うことができました。

原爆の時速や表面温度などをくわしく知ることができ
厚た被爆者の数、1人ひとりの被害の大きさなどから
原爆を地上に落とすということがどれだけ大変なことが
分かりました。

現代の若者は戦争としての意識が下がってきてしまっていて、
今回、私は戦争についてたくさんを知ることができたので、
来年のオリンピックでたくさんの若者やたくさんの外国人にこの
ようなでき事があったということを、もっと伝えていきな
いと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業で私は、戦争のおそろしさを許しく知ることができました。私が一番おどろいたことは原爆の音です。先生が再現してくださった音は、すごくびっくりしました。私がびっくりしたように、広島にいた人たちは、すごくびっくりしたのかなと思いました。また、候補になった都市が「横浜」もあり、東京に近かったので、落とされなくて良かったという気持ちや、たくさんの戦友や人々が亡くなり、死亡率40%の原爆にあった人の気持ちが分かったような気もしました。原爆にあった方は「分かっていない」と思う人もいるかもしれないので、しょうめいするため、**“今”** 私たちにできることは精いっぱいやりつくそうと思います。原爆で生きてこられた人はいます。死んでしまっていれば、私たちは生きてこなかったかもしれない。だから、「生きたい」のに亡くなってしまった人たちのために、がんばって生きてこられた人たちのために、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

れた人たちのために、

今ある命を大切にしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原火暴先生の受講を受けて
広島にリンボーンを投下した飛行機
の直前のエノラヤイがチベットの
お母さんの名前だとわづか
りました。ぼくは他に女目具が
おまへについてしまっ
たおまへにさげさるくらい痛
かったのかと思いました。原
子火暴爆発した時の高さか
600mの高さで火暴で人が
10mくらいとほさる勢
いがあるということがわか
りました。それで目かけま
るすべつたり目かけてた
りの人どうしてこすれあ
っていたかどうして
原火暴がなぜ人の命をうば
うというのかわかったの
でもうこういうことにな
らないうようになってほ
しいと思います。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今回の原爆先生の話しを聞いて、授業では習ったことのないことを知りました。一つ目は原爆の候補にあつた所は自分では、広島と長崎しかなかったと思つていたら、原爆先生の言つていたことを聞いたら、第1が広島で第2が小倉で第3が長崎であつた。横浜、新潟、京都で京都はなぜならあつたのが不思議でした。たしかに聞いてるうちに、日本のじょうほう文化財がいっぱいあることからあつたのがわかりました。また、原子バクダンは気候がさいてきつなまつたためたから小倉があつたのがわかりました。二つ目は広島市の人口が35万人たつたので14万人もの死者がでてしまつて、その数を見ただけでおどろきました。あと、池田先生のお父さんは戦争の経馬で、戦争記念館みたいな所で昔の戦争で手とかがやけてしまつて、記念館はすこきれいだとついでびっくりしました。最近の若い人はポツダム宣言(終戦)した日も知らない人たつたので伝えていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表
12/17

名前は裏面に記入してください

ぼくが五年生のときに原爆は土也面についてぼく発すると思
 ってきました。今までは広島県か原爆
 おとされてないと思ってきました。でも長
 さきもおとされてることがおかしな思
 ったんですけど広島県だけでもいいと思
 いました。なぜなら日本はたい負
 けたので広島だけでもいいと思
 原爆の中心は100万℃で分
 ことがおかしな暑さが
 できません。600mもはなれているのに
 なんぞ3000℃もいのかおかしな
 すがいい力だったということがなんと
 くおかしな。原爆をまとう候
 補にた都市は①広島②小倉③長崎のほ
 かに横濱、新潟、京都で京都は候
 補にはずされました。なぜなら金閣寺
 や銀閣寺とか清水寺とかあるの
 候補からはずされたことがおかしな。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆の事を聞いて自分がその場にいたら間ちがいな
いなく死ぬと思いはせ。しかしぼくが原爆を落した人だとして、
相手の国に原爆を落とす役だとしても落したくない
と思いました。また、原爆は「衝撃波、熱線、放射
線。」の三つが一番の強かな力で今まで「原爆はすご
い危険。」としか、思った事はなかったけどこの三つがわ
ってさらに危険な物になりより強かさを増しているんだと
思いました。しかし、今ごろ京都に原爆が落されてい
たら数々の歴史がこわされていって京都は栄えていなか
ったかもしれないけど敵ですら敵の国の歴史(京都)を
攻撃しないなんてとれほど京都が大切なのが知りました。そ
してぼくは一番に思った事は、「戦争は、もうおこしてはいけな
い。ましては原子爆弾なんか使ったらだめ。」だと思いまし
た。こうして原爆のこわさ、戦争のおそろしさも外国の人々に
も知ってもらって、世界的に戦争をなくすようにしたい
です。今回は、原爆、戦争の事について教えてもらってありがと
うございます。また、来た時は、くわし事や、細かい戦争、
今も続いている内戦を調べ、戦争をしないように色々な人々に伝
えていきます。今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業で原爆は、とてもとてもきけんなことがわかりました。また、横浜、新潟、湯、京都の中で一番京都がおそわれていたことにびっくりしました。さらに原子爆弾投下都市の条件で直径5kmを超える平野であること、空襲がながた。とゆうことをはじめて知ってびっくりしました。さらには、広島市人口は35万人で被爆者数24万人、死者数14万人で死亡率40%とゆうことをきいてびっくりしました。また、原爆一つでこんなにひがいを受ける人がいるのでびっくりしました。原爆で広島、小倉、長崎、横浜、新潟、湯も京都のようにおそわれているとゆうことを知ってびっくりしました。この特別授業で原爆のことでいろいろな人の命がうばわれたこととさんねんでした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

私が今回学んだことは、原爆が、いかにあぶないということです。なかなら、地面から、600mものまよりをはなれているのに、地面が3000℃にもなっているという、また、人が11.7秒にして溶けてしまうことです。また、なかいちいち飛行機にお母さんの名前も書のかなと思いました。また、もし、原爆が京都や横浜に落とされていたら、今ごろ日本はどのようになっているのかなと思いました。それに落ちた場所が、横浜だったら、横浜にも原爆ドーム的な物があったのかなと思いました。また、もし京都に落ちていたら、全ての古いお寺と家、また近くの県なども被害を受けていたのかなと思いました。他にも、もし原爆が、今おっこちこきてしまったら、肌もスルスルになっちゃって、ものすごいショックを私だったら受けちゃうけれど、当時の人は、どのような気持ちだったのかなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

名前は裏面に記入してください

最初に題名の「7000℃の炎」が目に入りました。私は原爆が「やけど」など「けが」をもたらすことを知っていたので、熱すぎた男の子が「7000℃」になってしまうのがひどく思っていたけど、話を聞いていくと、広島に投下された原爆の名前が「リトルボーイ」で、その原爆が「7000℃」ほどに高温から、というのがわかりました。そこで「私はなぜ「リトルボーイ」という名前にしたのか疑問に思いました。また千バット大佐の乗った原爆を落とした飛行機の名前が「エラゲイター」千バット大佐の母親の名前であることがわかり、私がもしも千バット大佐の立場であったら、やめてほしいと言うと思いました。千バット大佐が「母親の名前」にしたのか疑問です。私は原爆先生のお父さんのお話し（ビデオもふくめて）を聞いて、戦争の悲惨さを学ぶことができました。私たちが遺体の処理など絶対にできないと思いました。当時のもっとくゆしいことは分かりませんが、今と比べると、同じところはほとんどなく、もう戦争は2度と起こしてほしくないと思うし、なぜアメリカは、空襲だけでも、日本は弱っていたのに原爆を投下したのか、なぜ日本はすぐには負けを認めなかったのか、が最大の疑問だと思います。現在、この戦争の時代に生きていた人は少なくなっているので、このような特別授業をして、深い、表面的だけではないところを学ぶことが大事だと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12 / 17

私は、原爆の体験談を聞いて、原爆資料館では見られな
 かった悲さんさを知りました。特に、全身やけどを負った人々の
 人形を見て、「きれいすぎる」と言っていたことにしよう撃を受けました。
 なぜなら、私が中学年の頃に人形を見て、ぞくぞくとふるえてしまふほど怖
 かったからです。また、原爆がパラシュートで落とされたのではないという
 ことをはじめて知り、パラシュートで落とされたのは、気象状態をよける
 ラジオゾンネだったということを知りました。そして、原爆を落とす候
 補となり、原爆条件に最も適していた京都が文化財があったこと
 によって守られたことを聞き、アメリカの目標設定委員はよりしん重に審
 議をすすめ、議論し合ったのだと感じました。原爆の名前、「リトル
 ボーイ」を日本語では「小さな少年」と言うことを知り、私は小さい
 けれど、すごい力を発揮するものという意味で名付けられたのか
 と思いました。しかし、この「リトルボーイ」は312mもあり、重さは40tもある
 のに、なぜ「小さな」なのか不思議に思いました。また、原爆ド
 ムの元の姿を見て、原爆ドームは建築物のこわれずかただったことを知
 り、あの固いかバカーションでこわれたと思うと、改めてすごい破壊力
 だったのだなと感じました。そして、温度だけで言うと、太陽が接近
 しているよりも高かったことを知って、これから自分にできること(伝える)
 をしっかりと、このような悲さん+出来事が2度と起こらないようにしてい



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆のことについて教わったことの中で最も心に残ったことはエノラ・ゲイなどの原爆を落とすためにアメリカが産み出した兵器や機械のことです。エノラ・ゲイに乗り込んだチベット隊のことが特に心に残りました。たしかに、広島に原爆を落としたり、戦争をしたりすることはとてもひどく恐ろしいことです。だからといってエノラ・ゲイに乗ったチベット隊の主将のチベット人佐々木恵一先生はいいと思います。彼は上の人から命令されたのであり人としてやることがないことだと知っていると思います。むしろ、かわいそうです。母の名前がった飛行機に乗って原爆を落とさなかったでしよう。落としてからすぐに向きを変えてテニアン島にもどる際、彼は窓を見るのが苦しかったと思います。見せてくれた原爆雲の写真を見るのも苦しかったと思います。とてもかわいそうです。しかし、これは日本はもっと早くお風呂に入れていけば原爆を落とさなかったと思います。原爆によってお風呂を知ることでいい経験になりました。これから平和を保つ続け、原爆によって家族を語り生きていきたいと思います。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

父が「エノラ・ゲイはゴダフ言語で天皇殺せ、という意味なんだよ」と言っていたのは本当ですか？



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は特別授業を通して今まで授業では知ることができませんでした。1つ目は原爆がどれくらいおそろしいものか知りました。衝撃波の速さは音よりも速く毎秒470mと聞いてもよくわかりませんでした。けれど被爆者数を見たときに広島市人口の半分以上で死亡率は40%ということが分かり原子爆弾がどれくらい威力が強いのかが分かりました。2つ目に知ったことは、広島市でどれくらいの人がかえるんだかです。先生の話聞いて、「兵隊さん助けて」と助けを求めやけどして皮がはがれたり、動けなくなったおれたりして今では考えられないようなことが起きていたことも分かりました。私は先生が空襲音を聞いたときにあごぐらいいました。なので本当に空襲にあつた人々はどれくらい悲しみがあつたのかとあごぐらいいました。この授業で日ごろの学習では知ることができなかったたたくさんのことを知ることができました。若い人たちは戦争をしらない人もたくさんいるのでこれから私たちが戦争のことを次の世代に教えていかなければならないと思いました。この学習を生かし日々生活していきなす。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこウ

表

名前は裏面に記入してください

原爆が広島と長崎に落とされたたくさんの方が亡くなったことは知っていたけれど、爆心地や原爆はどのような物なのか詳しく知らなかったのでも貴重な時間でした。また原爆の最前先にあった人の日記だとその時の様子がよく分かりました。ぼくが一番心に残ったのは原爆の爆を受けた直後の人々の様子です。みんながはがれて顔に大やけどをおうなんてあり得ません。池田さんが初めて感しょくを見るだけでもイヤです。でも一番イヤなのは自分がそうなることです。そうやって人がいっしょんで死にいたりひどい姿にしたりする原爆のおそろしさが分かりました。また原爆の熱さは太陽よりも熱いということにおどろきました。それで最初に言った7000℃の少年の意味が人ではなく爆弾だったことが分かりました。今回の学習で核兵器は二度と世界的に使ってはならないものだし、造ってはいけないことが改めて理解



じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/17

ぼくは、今まで原爆のことについてあまり知りませんでした。しかし、今回の授業で原爆の怖さと、その被害の大きさを知り、とてもおどろきました。また、原爆の周りの温度を知った時周りを47000度といわれ、温度が高くてあまり実感がなかったけれど太陽の表面温度よりも高いことを知り、とてもおどろきました。人間の心臓のかわがはかれるほどときいて、このまうな話が現実にあることにも悲しくなるとともに原爆を使えばいけないという気持ちも、より強くなったと思う。そして、原爆トーム(広島県産業奨励館)が負の世界遺産に選ばれることに納得した。しかし、負の世界遺産は、原爆トーム以外にもたくさんあることがあるのです。日本以外でもたくさんあるところ、人々がたくさん亡くなったことがあると思うと、これからは、このまうなことが二度とおさへほしくないと思う。しかし、今の自分では、このまうにしたら、人々がたくさん亡くなるまうな事件が戦争を防ぐのが分からないので、この授業をきっかけに、より深く歴史の学習をすることで答えを見つけることかできると思うので歴史の学習も大切にしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

いままで自分で戦争について深く考えたことがあまりありませんでした。でも戦争の学習がはじまって、戦争についてより知りたくなりました。戦前、戦中、戦後のくらしをよく知らず、自分の中でもっとくわしく知りたくなりました。そして、戦中のこと、原爆についてを今回の学習で学ぶことができました。まず戦中のことでぼくの心にささったことは、人だけが人じゃないような姿になっていたということです。この言葉を聞いたことにより、今自分がどれだけのあわれみに生きていられているということです。原爆では、この戦中に原によってどれだけの人が苦しんでいたのが、もっともいろいろな人に伝えていかなくては、いけないと思いました。なのでぼくは年下の人たちに戦争でどれだけの人がつらい思いをしたのか、なにがおこっていたのしかり伝えていこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、原爆はとてもおそろしいということがわかりました。最初には原爆を落とす場所が広島ではなく京都であったというのを知り、とてもおそろしかったです。私は、原爆資料館や原爆の4にいったことがあるため、原爆のことについて、くわしく知っていると思っていました。しかし、授業を受講すると、原爆が落とされた場所がどのような状態になっていたのかを、また知らなかったことについて、たくさん知ることができました。今回の授業では多くのことを学べたため、忘れてしまうのではなく、今後どのように生かしていけるのか、しっかりと考えたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

原爆によって戦争に何も手を加えていない、何の罪もない、多くの市民がとてつくなことを改めて知りました。かけがえのない命が一つの爆弾によって一瞬にして奪われ、人間なのに人間とは思えない姿になる人がもう一度と日本に現れるように、この話を聞いた私たちはどのように生かすことができるのか考えました。私が低学年の頃に行った原爆ドームと平和記念公園で、私はとてもショックを受け、途中から目をくらめてしまいました。しかしそれだけ原爆を体験した人からは「生かす」「生かす」に見えることを知り、どれほど原爆が恐ろしいことか分かりました。今、そして将来、原爆そして戦争の恐ろしさを身体で体験した人はほとんどいなくなり、やがて0人になります。そのとき若者と同じくらい、戦争のことを知っている人がいるようにするには自分たちから伝えていかなければならないと思います。そのためにもっと自分から積極的に戦争のことを知らなければならぬので、本やインターネットなどで、体験している人の思いや見たことなどをたぐい調べなければと感じました。今回の授業で一番衝撃を受けたのは原爆が700度だと言うと、2万人の人が一瞬で、残る12万人がとばされたと聞いたということ。人間の技術はよく使えばかまじりない進歩のおかげで、しかし間違えを恐ろしくなることを知り、本当の技術の意図とは何か

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
 まあそれを考えようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は、広島と長崎に落とされた
 数万人〜数十万人の人が死なな
 ったということしか知らなかった
 でした。しかし、今回の授業で
 いろいろ知ることができました。原子爆弾
 を落とすには条件があり、候補に
 なった都市は沢山あり、その中
 から「たまたま」広島と長崎に落と
 されたこと、原爆が爆発すると、
 衝撃が波で2回あり、その後、
 中心100万℃、周囲7000℃の
 球体が出て、地上は3000℃に
 なり、人の体の体内の水は瞬
 時に蒸発して、ただの黒い
 影になること、などを学び、
 戦争には決して行ってはならず、
 外国が戦争を行っていたら、国はその
 戦争に乗らず、止めさせる努力をするべ
 きだということも学びました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受講して原爆の恐しさを改めて実感しました。二年ほど前に原爆ドーム資料館に行き、た僕は原爆について知りつくしたと思いましたが。しかし特別授業の中には僕が知らなかったことも多くありました。例えば今回の池田義三さんの実体験の話や、中心、表面温度など自分の見た事と今回の話でさらに深めることができました。今回の特別授業の中で最もおもしろかったことは原爆投下に条件があったということでした。僕は最初落とすなら大都市の近郊が最適だと思いましたが。しかしすばる考えられていたことにすごさと怖さを感じました。今回の学習を知り、たままに終わらせずにも、と仰ぐの人に伝えたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、特別授業を受講して、戦争について
 もっと知ることができました。自分は戦争につ
 いては知っていましたが、原爆については、詳しく知
 らなかったのでも知ることができてよかったです。
 先生が原爆の音を出した時、とても大きな
 音で、とてもびっくりしました。あの部屋で、
 みんながびっくりしたなら、本当の音はもっと大き
 かったのだと思います。原爆の音は、700メートル
 まで聞こえました。そして、その音は、
 2分ほど続きました。その音は、太陽が燃えるのと
 似ていて、とても熱いと言っていました。その
 音は、とても怖く、とても悲しいです。ぼくは、
 今回の授業で、原爆のおそろしさを知
 りました。そして、戦争の怖さ、そのおそろ
 しさを知りました。そして、戦争の怖さを
 自分から、積極的に伝えていくように思
 います。戦争は、とても悲しいです。戦争は、
 人を殺すだけでなく、環境を汚すことも
 あります。戦争は、とても悲しいです。戦争は、
 ぼくが、戦争の怖さを、自分から伝えてい



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生は「まま」で言ってくれた本でもあつた
 と言ってくれたのかなかの「今回の授業
 は大変勉強になりました。またエノラ
 ケイ号の名前の由来が」とかよくわかりま
 した。またエノラケイの機長が大佐だ
 ので機長は普通尉官が勤めているので原
 爆先生も軍が「これだけ重視している
 が」かかれました。他にも「B29が広島上
 空に単機で侵入したと思、ていたがず
 い半機がいて原爆のあの有名な写真
 もエノラケイといはなくずい半機が
 たものだ」と知、てお、てきました。
 また原爆の被害が、熱線放射能だ
 だと思、てお、りました。速、か音速、
 かつ速い、しょうけい波が来る、と広島建
 物のほとんどはこのしょうけい波で破
 壊されたと思、りました。戻、くは今回の授業で原爆に
 ついても詳しく知、ることかいてきました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆をおとす候補や原爆の温度などと原爆による悲
惨さ以外の知識を得ることができました。

特に、広島市の町並や原爆の被害者というより知識が
下ゆか、空襲の他の知識も得ました。

その下実演してくださった時、その時の様子が
つかえました。

また、工場の話なども相場の国の様子が
つかえました。

そして、衝撃波の速さは440m/sで音速340m/s
なので飛んだ後に音波が伝わるという点も
新しい知識を得ました。

そのように話をしてくださった池田先生
に感謝いたします。

また、最後に池田先生のお父様の映像では、原爆による深い悲しみが
伝わりました。

そして、二度とこのような起ることはないようにするために特別授業を行っ
た「原爆先生」の取り組みに感謝と共にこのような活動も自分も
行いたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の授業で、原爆のことについて学んで、私は、原爆で、それを落とすことができる条件は、直径5kmを超えること、平野であること、いままでに空襲めがなかつたことで、決められていることが分かり、そして、その落とす場所の天候などで、ちかう場所に落していたことが分かり、3つの候補をあげられていたことが分かりました。広島に落された原子爆弾の重さは、約4tで、長さは、3.12mの物だということが分かりました。そして、その近くにいる人は、体中がやけどで、皮膚がはがれまじい、体の中の油が出てきていて、私は、イメージするだけで、「体中の皮膚がはがれたら、かなッいたいな。かまんしているのか」とでもういいな。っらいおもしろい人だな」と思いました。原爆雲は、下から見ると、「赤やむらさき」という色になっていることが分かりました。放射線をまわりまきまきしてそのものを体の中に取りこむと、「原爆病」という病にかかっちゃうことが知ることができました。そして、爆心直下の温度は、3~4000度で、上からみ、くるので、かげがでまないとことが分かりました。今回は、池田先生に、いそがしいなか、原爆のことと教えていたとき、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆投下都市の条件は、原はくの
 いなくかよく分かるところであることを
 知りました。了Xリカカ日本を実験
 台にしていたことが今わかり、僕は
 むどいと思えました。しかし重要な
 文化材をこわさなように京都に
 おいたことを知り意外と
 やさしいと感じました。また原はく
 をあと前にラジオソングをあ
 とすことがわかりました。

僕は衝撃波が音より速いと
 先生の父が泣いたことが深く印象に
 残りました。強く「さし助けようとしても
 助けられないかなし」がすこ「かたんた」と
 思いました。僕は戦争で原はくに
 入ってもと謂いたいと思えました。
 そして、戦争の怖さそして原はくの
 怖さを知らない人に、どれほど恐い
 ものなのかわかってほしいなと思えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は赤堤小学に来てくださりありがとうございました。ぼくは社会科が好きなほうなので原爆先生に来ていたと知った時にとっても楽しみにしていました。しかし原爆先生の話しが始まると、おまじで戦争などに関連した話なので楽しいのではなく真剣にきかないとダメだ、と思いました。そして最初のタイトルが7000歳の少年とあってなんだだろうと思っていて聞いてみると、途中で原爆の名前で「リトルボーイ」というのがあってこれが小さな少年というコードネームなので7000歳の少年とは広島に投下された原爆のことだ！と思いました。話の最後の方には動画がありその原爆が落とされた時のことを思い出すと今でも泣いていたのでとれただけひどかったのだろうと思い、鳥はだかたちました。ぼくはこの授業で改めて思ったのが歴史を学んでいる理由は今までと同じ間違いをしないためだと思います。なので原爆先生に習ったことやこれから学んでいく歴史から過去にこんなことがあったなど意識をしながら日々の生活に生かしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回池田先生の授業を聞いて、
社会の授業でわからなかった事などを
知ることができました。例えば、原子爆弾
投下都市の条件だったり、衝撃波の速さ
を知ることができました。衝撃波の速さ
は、音よりもはやい、毎秒440mということが
知らなかったのでおどろきました。
私は戦争というものはあまり知らず、
授業を受ける前まではこわいものだと
考えていませんでした。しかし、池田先生
の授業を聞いて、少しこわくなってきました。
広島の人35万人の中でたくさんの方が亡く
なりました。今回の学習で池田先生から
教えてもらったことをまた戦争はどんなもの
で、どれくらいこわいものなのかを知らない子ども
たちに伝えていき、戦争のこわさをわすれずに
していきたいです。また、今回教えてもらったこと
以外も本やインターネットを使って調べていきたい
です。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/17

僕は、2007年生まれなので、当然の事ながら戦争当事者ではない。そのための学校で教科書や資料集という客観的な学びが1分できたら、それを修めたとしても当事者には及ばない。今回、池田先生外、義三さんの手記を元に原爆の恐ろしさ等を語り、くれた。前半の方では巨口シマの九日間、A5の朗読で、臨場感溢れる物だった。後半の詳しい説明では原爆の恐ろしさを3つの観点から説明してくれたので少し分かったような気がした。僕は、池田先生からエラ・ケイはチベット大佐の母の名前だと聞いて、エラ・ケイさんは自分の名前の飛行機が広島に原子爆弾を投下し、多くの犠牲者を出したと知ると、どのような気持ちになったのか、と思った。さらに、池田義三さんか広島平和記念館に行った時「きれいな景色」と言ったのか心に残った。そこから、いくら戦争を学んで知ったつもりになっても、戦争があったところで被害者とならなければ本当の「戦争」を学ばない他、当事者と我々戦後世代では自分の中にある「戦争」はまったく違うのだ、と思った。池田先生は戦後生まれでありながら少しでも戦争を当事者達に近づけようとしたのではないのか。つまり、「戦争」を生かすことは、「戦争」を当事者に近づけることだ、ということも分かった。池田先生、先日はお忙しいなか赤堤小に来ていただき大変貴重な講演をしてくださり本当にありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日は、私たちの学校で、原爆について語って下さり、ありがと
 うございました。私は原爆先生のお話を聞いて、無理矢理
 一言にすると、今まで知らなかった戦争の悲惨さがよく分かりま
 した。しかし私たちが90分間の長い時間で、原爆先生の
 話から得たものは、こんな単純でも、たいへんでも言えるような
 言葉ではおさまらず、どう表現すれば伝わるのか分かり
 ません。特に私の心に残ったのは、広島にある原爆資
 料館で、おとすけさんがおとすけした時に飛したという言葉で
 した。あつてるか分かりませんか。そんな、きつい言葉に
 という言葉です。私はこの時、前に総合科見学で、おとすけした
 昭和三館を思い出しました。私は、防空という体験をしました。私
 はとても怖く感じました。でも、この言葉は、実際の現場にある
 資料館で飛したということもあり、広島資料館は、できるだけ
 本物近く、被爆者^{の話}をもとに「おとすけしたのた」と思いますが、でも
 被爆者は「おとすけした」時という事は、昭和三館の体験が先
 何倍も、何倍もひどく、怖く、つらかつたのた」と思っています。
 ました。私がおとすけしたように思えるようになったのは、原爆先生が話
 をしてくださったからだと思えます。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は池田さんの授業を聞いて「わたし」が助かってよかったな。また、原爆くのすぐ近くに落ちたら
の圧力や様子、風景も教えてくださりとてもよく分
かりました。授業(社会)の時には $\frac{8}{10}$ 広島へ
 $\frac{8}{10}$ 長崎へとくわしく元の人口が何人で死ん
だ人が何人かとかくわしく知れていないと思いま
した。最初トラックを待っていた時にい
きなり「キャッッッ」と大きな音かした時に
はもう私自身が「わたし」になっているよう
な気がして原爆くを体験しているかのように
なっていたのかおどろきました。原爆くのいか
が秒速430m、音速330mともものすごい速さの
こと、「助けて」といっている人の歩き方などを実際
に演出してくれたのでとても分かりやすか
たです。今回は赤堤小学校に来てくれたおかげ
で体験した人にしか分からないきょうふや悲しみを感じ
取ることができました。原爆ドームにも行ってみたいと
思いました。とてもよく分かりやすく教えてくださりあり
がとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いてみて、最初は原爆のこゆさを知らず、全くこゆくないと思ってました。だけれど、授業で調べたり、原爆先生の話を聞いてみてとてもこゆいものだということを知りました。原子爆だんの温度が太陽より高いとおっしゃったときに体がふるえてしまいました。そんなおそろしいものがおちてくるなんてとてもこゆい話をきいているだけでも心臓の音が激しくもなりました。私がその時生きていたらほんとうにそのじょうまようをうけいれたなかつたと思うけれど、その時に生きていた人々はどううけいれたしかなかくうけいれてくれたことを本当に下ごいなと思えました。池田よしげうせんが体験したこゆさが私にまでつたゆり本当づらかつたと思います。これから原子爆だんがおちてこないとはかぎらないので、その時は今のじょうまようをうけいれたらと思えます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して原子爆弾が爆発した時にどれほどのあつさなのかがよく分かりました。また、そのあつさが太陽の表面温度の6000℃よりも高く、表面温度が7000℃で中心が100万とほどもあったということにおどろきました。また、原子爆弾にはろっりりりよくがあり、ね、せん しょうげき波放射線だということが分かり、原爆しょうなどにかかり死んでしまったり生きていても今でも苦しんでいる人がいるということが分かり戦争のためにはたらかされているのに原子爆弾で死んでしまったり後いしょうがのこってしまったたりするのがひどいな、と思いました。また7000℃の少年の意味が、生きていた少年なのか、「リトルボーイ」の少年なのかが分からず、きい間に思いました。今度受講するさいに教えてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、広島での原爆や戦争などについては教科書や資料で学んでいました。でも、戦争の間の苦しさや気持ちなどは想像できるけれど、実際には事実以外何も分かりませんでした。でも、池田先生の特別授業のおかげで、兵隊の人達やぶつらに暮らしていた大人や子どもたちの気持ちなどについてもと深く学ぶことができました。私がどうしても授業の中で心に残ったことは、囲戸や川の中にいた人々です。理由は池田先生の説明で「人間やビダコのようにになっていた」と言っていたからです。その説明を聞いた時は心がいたくなりしました。私は、このような歴史が二度とくり返されないうために後の世代にも日本国民だけではなく、人間として伝えたいといけなうと感じました。そのためにまずは戦争や原爆などを経験した人の立場になって考えてみたいでう。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが、原爆で学んだことはたった3メートル
のはくたくで24万人の人がひがりにあつてし
まり半径3kmがひがりにあつたということだ
よ。しかも中心は10万とて100mはなれて
いてもたいまうと同じく300のまんとん
のてとてもまけたと思ひました。そして
うけんはくは便おなをいへるが
いと思ひました。また今のけんはくは
つていりかゝつたといとおもふの
でせう。たに便つてはけんが
りしてはかろも人が死ん
でしまふようなはくたんの戦争
はまこしてはたためたと思ひ
ました。

本日は赤堤小学校に来てくださ
りありがとうございます。おかげ
でけんはくおせんまうなとの
あしきかたかまりせうたりにはまこして
はなろふ"と思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆のことに教えてもらいました。

ぼくは、あまり原爆のことは知りませんでした。

原爆が爆発したら3000℃になるということが
知らなかったです。でも、池田先生から教えてもらった
ことでいろいろなことがわかりました。

例えば、原爆が落ちていてもはなれている場所
でも大けがをするし、そして原爆が上空600mに近づく

太陽の表面温度よりも高くなるというし、そして、
原爆が落ちたことにより、約14万人の人口が亡くなって

しまったというし。ぼくはこのことを聞いたとき、
胸の奥底から絶望やりがり、悲しみがこみ上げてき
て呼吸をすることも苦しくなりました。

なににより一着だったにしてもやさしかったです。ぼくがこのように
人からこの上なことを聞いて知ったとしても、なににも今の
歳じゃなににもできないのか、そう思いました。

でも今はそれだけでいいのかもしれません。でもぼくは親
せきや友達、家族にこのことを伝えて、少しでも多くに
このことを伝えたいです。

今回は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

今日の学習を通して学んだことは
B29火暴撃機機^{しゅこう}の存在は知っていたけど
その名前が「エノラゲイ」という名で、それが
その機体に乗っている千ヘット大佐の「母」
の名前だったということにおどろきました。

また原爆の投下都市には条件があっ
しかも京都がアメリカの様々な人から推さ
れていたことが意外でした。もし本当に京都
に落とされていたら... と思うと本当に怖
いです。また広島に落とされた原爆の名は
「リトルボーイ」「7000トンの炎」ということやこの原爆
は太陽よりも熱くそれを人工的に造れて
しまうことをおそろしく思うとともに「ラジオソ
ディ」は二われなかつたことを不思議に思
いました。

ほくはこの学習を通して改めて原爆の
おそろしさに気づき、またそのことを気づかせてく
れた原爆先生に感謝しています。

本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、池田先生のお話を聞いて今までは原爆について知っていると思っていたけれど、
以外に、自分は何も知らなかったということから
がりました。例えば、原爆の被害は、熱線、
衝撃波、放射線の3つがあることかどう
かって原爆のキノコ雲がでるかなどのこと
です。ぼくが先生のお話の中で一番びっくり
したのは、爆発したときの温度です。なぜなら
爆発したときにできた球体の中心の温度
は100万℃、球体の外の温度は7000℃で地上で
も3000℃でとても人が生きていられない温
度だからです。ぼくが心に残ったこと
は、原爆の被爆者数です。なぜなら被爆者数は
24万人で広島市人口の約40%、原爆の死者
数が14万人で、死亡率が約40%だったから
です。ぼくは、このことを聞いて改めて絶対に戦争を
起こしてはいけなうと思いました。このお話を聞か
せていただき本当にありがとうございました。これから原
爆のことを友達や家族にも伝えてその話を伝えていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今回、池田先生のお話を聞いて、戦争がどれたけやってはならないことか！
どのおに生かせばいいか！前よりしより深く考えることができました。私は、原爆が落とされたことや、落ちたことで、あたりがとても悲しいことになってしまったことは知っていましたか！
細かことはあまり知らず、今回知れて本当に良かったと思いました。広島市の人口が35万人の中、被爆者、死者が、合わせて38万人ほどいたという事実を知りとても苦しい気持ちになり、せつたに戦争はゆるはならないと、強く思いました。最近では戦争のことをよく知らない（生かしてない）ような人が増えてきているので、今からでも、戦争のことをもと学んで、様々な人に伝えて、生かせるように、努わしていきたいです。今回池田先生が、私たちの心に届けてくれるように、くわしくお話をしてくれただけで、私たちは、より深く戦争について考えることができました。池田先生、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆が広島に落ちたことは知っていたけれど、その時の広島ではどのようなことが起きていたのかはあまりよく知りませんでした。けれど、原爆戦争に教わったことで、原爆のおそろしさかとしてますます分かりました。たとえば「広島市の人口35万人の内、24万人がけがをして14万人が死亡した」ということを知った時はとてもおどろきました。また、原爆が7000°Cであるというのを知った時は被爆者の苦しみやつらさか自分のことのように伝わってきました。川が血で赤く染まっていたと知るととてもおそろしい気分になりました。これから原爆が使われることのないようにしたいと思います。大変なことを教えてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

池田先生へ

私は、なぜ広島が原爆にあって、何も罪
のなりの人が亡くなってしまうのか
納得できませんでした。今回の授業
で、本当は、京都に原爆をおとそうと
していただければ、日本にとって重要
な文化財をなくしてしまう日本人の気持
ちを考えているというのを知りました。
また、広島は、原爆をおとす条件にあって、
ただこのだけで原爆をおとし、14万人も
の命を奪ったということも知りました。
そして、いまだに私の質問は、納得できてはいま
せんが少し分かったように思いました。被爆者
の方々の苦ししい思いは、私に体験でき
ることはありません。でも、原爆の
ことについて、また体験を聞くことによつて
少しは分かると思いました。最近、原爆につ
いて知らない人が増えていいます。特別授業を行
うことによつて原爆について知る人が増えてほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆がこんなにすごいものだとは、知りませんでした。特に、とても驚いたことは、候補になった都市の中で一番おされたのは、「京都」だということです。私は言われる前は、広島と長崎だけだと思っていました。アメリカも、少しははいりしてくれたのだと感激しました。京都は重要文化財がたくさんあり、四方が山で広大でごぼんの目になっているのでおされたのだということも初めて知りました。しかし、それでなぜ広島と長崎が最終候補になったのかが疑問に思いました。また、エラ・ゲイムは、機長の母親の名前なのかも疑問に思いました。また、次に驚いたことは、原爆ドームの前の名前がドームとは全く違ったことです。「広島県産業奨励館」が原爆であんなにこわれてまうのを写真で見ると、原爆は本当に恐ろしいものだなと改めて思いました。また、衝撃波の速さが音よりも速く、原爆が落とされた時、7000℃で、太陽(表面温度6000℃)が近づいてきたのと一緒にだとして、あいた口がふさがらないほどでした。また、原爆で広島市の方々のうち2人が死んでいることを知り、原爆は2度とあってはならないと強く思いました。先日はお忙しいなか来てくださり、教えてくださって、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

先日は赤堤小学校で原爆について
の授業をして下さりありがとうございました。
これは、社会の授業で原爆について習い知っていたつもり
でしたが先生の話を聞き、自分が
どれだけ原爆について知らずか生かして
いないのかわかりました。授業が一番
おどろいたのは広島市人口35万人の
内の14万人が亡くなりましたこと
です。また、被爆者数と死者数を合
合わせると38万人人口よりも3万人も多
い方が原爆によって被害を受けた
ことを知りおどろきました。社会の
授業で先生が「どれだけ知
っても生かす、伝えることが大切」と
言っていました。池田先生はそれを
実行して下さると思います。これは
学校でどう生かしていきるか考
えましたが実行できるかわかり
ません。本当に先日は原爆について
教えて下さりありがとうございました。
これからもがんばって下さる



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の特別授業を受けて、今まで習っていた社会の授業ではあまり習うことの無かった、原爆の本当のおそろしさ、と木だけくり返してはいいまいことなのかが分かりました。

原爆がウランを使っている供りおているという事やおそろしい物だということを知っていたけれど、本当のい力や、その当時のことは、ほぼ知りなかつたので、今回の特別授業で、より戦争や原爆に関する知識を深めることが出来ました。

人であるはずなのに、人の形をしていながら人がいれたという話や、生きている人の傷口に光が刺さったという話など、戦争をくり返してはいけませんという大事な話をたくさん話してくれて、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/10

死日は教科書にのっていい原爆のお話しをして
くださりありがとうございました。
マイクを使って原爆の音をやっていいいい
後、こんどドモ！とするものなんだと鬼
ました。広島原爆の資料館で「きれいすぎるの
という言葉聞いて、私は女の人かいいいい
手を出していい人形を見て、このふうな状態
の人かあふれかえっていいと考えるだけいい
しますか、それかきれいすぎるということ
本当はも、とひさんてこと、街も人もな
ていいのいいいい想像しました。太陽の
温度をこえるものかスカイリリーのところに
あるというのは、あついい言ってもいいいい
ほど、爆発音よりも速くしょうけきか来ると聞き
すたしく不思議なものか広島と長崎にあり
たいいいいいい教科書にのっていい
生はいいその原爆に「は、と息をのんで
しました。きょうのお話しをありがとう
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田先生前回の原爆についての特別授業
では原爆のことをいろいろ教えてくださ
りありがとうございました。学校の授業と
して原爆について学んだ時より特別授業で、
初めて聞いたことなどもあり原爆で亡くな
った方の話や、心臓がはかれおちたり、肉や骨
が見えるや全身が焼け、真赤の人の話で、
何も悪くない人まで、しゅんにしてとけて
気体になってしまった人などの話してさ
んごくという気持ちや、むなしすぎる気持ちで
心が苦しくなりました。今回の特別授業でた
く苦しければ戦争のさんごくさなど
知るといふ言い方は違ければ分かりました。学校
の授業で、たければ戦争などについて知ら
ない人が多くなっているのでは、ぼくのできる
ことを生かして世界中に戦争について教
えていきたいと思いました。今回の授業で、
戦争などのひさんさについて知ること
ができました。本当にありがとうございました。



名前を裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

しゅこう

表

十六日の月曜日^{月曜日}に赤見小学校に来ていただき、ありがとうございます。義三さんが実際に体験した原爆のおそろしさが池田先生のおはなしを通して感じることができました。「ドカーニ」と池田先生がおっしゃったときに本当に原爆が落ちてきたのかのように大きな音だったのでおどろきました。実際はもっと大きな音だったのだと思うと義三さんはこのフタさののリニえて生きてきたのだということも強く感じました。第二次世界大戦で落ちてきた原爆は六十年前の出来事であるのに原爆で後遺症になって今も苦しんでいる方がたくさんいることは非常に悲しいことだと思いました。池田先生のおはなしを聞いて、改めて「戦争は起してはいけない」、「原爆も落としてはいけない」そして「たくさんの人をきせいにしたり、苦しめてはいけない」ということを絶対に守りたいと思いました。それからこの原爆のおそろしさをたくさんの人に伝えていってください。



名前を裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

僕はこの授業を通して原爆はとても残酷で、戦争は断るべきだといけ
ないことだと学びました。原爆の衝撃は音速より毎秒100m/s
速いと知り、とても驚きました。また、600mはなれなくても3000°
という風が来ると知り、残酷かつひどい爆弾だと思いました。
その爆弾を落とせたアメリカ兵の気も知りません。

また、池田義三さんが大けがの人を助けてあげようとして、
外が「ずる」となったと聞き、こわさが助けられない切なさを
感じました。そんな爆弾を落とそうとしていたなんて、
体がふるえてしまう程ひどいと思いました。でもその中で
助かった人がいると知り、本当に良かったなと思いました。

このようなことをなくすために、戦争はしてはいけ
ないと思います。

これからも戦争はしてはいけ
ない、行える国にはいけない
という気持ちで、心に刻み、
日々の日常を送っていきたく
いです。

池田先生、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは広島や倉、長崎だけではなく横浜や京都、新潟、広島、原爆投下都市の候補の都市だ、たこしを初めて知りました。また原爆は熱線、衝撃波、放射線、広島市の人口の5人に2人が亡くなってしまう生き残った人も原爆病で苦しんでいてこんなむさんな戦争を二度と起こさせたくないと思いました。池田義三さんや8人の部下がトラックの運転手はドラム缶や冊の影になって原爆の被害を受けなかったことが奇跡だと思いました。それでも原爆が落ちたときには恐怖を感じたと思いました。その後被爆者のいたいた姿を見ながらも誰のことも救うことができなかった義三さんがかわいそうだと思いました。また元安川で死体の火葬を行ったときにはつらかったらうなと思いました。このことから私たちが思っているよりも、とひどいものだったのだと思いました。原爆先生は忙しいと思うけれどぼくたちの学校に来てくださりありがとうございます。これからもこのような活動を続けてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、わざわざ赤塚小学校に来てくださり
ありがとうございます。
私は、池田先生のお話を聞いて、原子爆弾が
投下されたら、人々にどのような影響をもたらす
のかを少し、知ることができました。また、
原爆弾投下都市の条件にそっている京都だけ
ど、人々の重要文化財があるからといって、投下しなかった
のなら、候補にあがった6つの都市の全ては住民にとっ
ても大難だったと思うので、どこにも落とすわけは良か
らなかつたと思います。また、今の時代の私たちは、原爆ドームと
いう名前だけを知っているだけで、広島県産業博物館
館という名を知らなければ、戦争のひそかさを知らないのと同
じだと思います。また、戦争を経験した世代が少なくな
ってきている現在で、戦争のことを若い子は良か
らなかつたし、日本がやったこと、やられたことを絶対に
忘れてはいけないと思います。私も池田先生
のように、みづかに戦争のことを知ってもらうために、語り
つづけていき、知った方がいいはず、佳かしていき
たいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは 池田先生の特別授業を受講して今まで
知らなかったことを知ることができました。例えば
原子爆弾の(1)力や原子爆弾投下都市
の条件や候補になつた都市などぼくがまだ知ら
なかったものがたくさんありました。その中で心に
残つたのが原子爆弾の(1)力と原子爆弾の投
下都市の条件と候補になつた都市です。原子爆
弾の熱線の球体の温度が太陽の表面温
度より高いといふことにおどろきました。

原子爆弾の投下都市条件でも ①直
径5kmを超える ②平野であること ③空襲が
なかったところの3つがあつてわかりました。今ま
で原子爆弾投下都市の条件のことを知らな
かつたのでよかったです。候補になつた都市では
①広島 ②小倉 ③長崎の3つの候補が上げられました。
①の天候が曇つたら ② ②の天候が曇つたら
③ ③の天候が曇つたら中止ということになりました。
(ぼくは池田先生の原爆の話を聞いて生かせる

ことがたくさんあると感心しました。なので先生の言葉で生かせることを目標と
に生かしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、原爆のことを教えてくれてありがとうございます
 ございました。ぼくは、原爆先生のお話やさ
 いがんなどで学んだことは、2つあります。1つは、
 原爆の音の大きさです。ぼくは、この授業で戦争の
 きょうふをたくさん知りました。ぼくは、原爆の「バーン」
 という音できょうふを体験しました。あの時は、
 心臓が止まるかと思うくらいびくつきせられ
 ました。ぼくは、昔の人の気持ちがあしわかった気
 がしました。2つ目は、原爆の時の温度です。
 ぼくは、さいじょ中心も5000℃くらいかな〜と思
 いました。しかし中心は、100万℃でした。ぼくは、
 この時広島の人大変だな〜と思い心がいたみ
 ました。生きている人は、きせきたな〜と思
 いました。

池田先生のさいざんやいろいろな悲しいお話
 などとても勉強になりました。ぼくは、これから
 も戦争でなくなった人たちのためにむねをほって
 生きてゆきたいです。池田先生もかんはってください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日の学習で、原爆は恐い物であり、二度と起こしてはいけないことだと思いました。原爆は太陽が6000℃に対し、7000℃という太陽が地球に来たというような物で中を当たると10000℃になることには驚きました。特に僕が印象に残っているのは、原爆の被害を受けた人が、手を前にだらりを出していたり、爆心地では水の入ったコンクリートの中に体育座りに入っていたりしたことにとてもしょうげきを受けました。アメリカ軍は都市をいくつか候補に上げていたみたいなのですが、僕はどこにも原爆は落としてはならず、住民を無ざんに殺すことは大罪だと思います。広島市の住民は5人に1人がなくなり、長崎市内の人たちも同じようになくなった人が多く、二度と起こしてはいけない物だということも考えました。今回、原爆や戦争のことについて家族で話しあつた池田先生から学んだことを話したいと思います。